
本書に寄せて

トム・バツン

友人であり、明確な目的を持った賢明なトレーダーでもある人物が書いた本の序文を書くことをとても光栄に思う。ベンスドープは多くのトレーダーが理解していないものを理解している稀有なトレーダーだ。本書は、さまざまな市場に対するアプローチを改善しようとしているトレーダーたちに私が勧める最高の本の1冊である。それにはいくつか理由がある。私の考えを述べてみたい。

私が出くわす多くのトレーダーは「完璧な」システムを作りたいと思っている人ばかりだ。私は、システムというよりも「戦略」という言葉のほうが好きだ。彼らのアプローチは常に利益を生み出すわけではないため、戦略を改善するために改良するとき、直近の市場に合わせて最新の最も素晴らしいアイデアを使ってそれを微調整する。数カ月後、別のアイデアを使ってまた微調整し、その数カ月後、また別のアイデアを使って微調整する。このプロセスは永遠に続く。

ベンスドープの取り組み方はこれとはまったく異なるもので、これは、私自身が何十年にもわたって実践してきたものだ。新しいアイデアを使って既存の戦略を微調整する必要などない。新しいアイデアを使えば、それはまったく新しいシステムだ。つまり、複数のシステムを同時に実行してはならない理由などないということである。複数のシステムを同時に実行することで、さまざまな資産クラスのエクスポージャーをとることができ、そのためスムーズなパフォーマンスを達成でき、起こり得るドローダウンを低くすることができる。

なぜ2つの戦略だけに限定する必要があるのか。コンピューターやトレードプラットフォームを使えば健全で、あなたのニーズに合うさまざまな戦略を想起することができる。なぜトレンドフォロワーだけに

限定する必要があるのだろうか。なぜ平均回帰を使わないのだろうか。なぜヘッジングをしないのだろうか。上昇相場のときは利益を生み出し、下落相場を打ちのめすような戦略はどうだろう。トレンドが短期間で終わる横ばい相場のときは短期のロジックを使うというのも良い。このようにトレンドフォロー以外にもいろいろな戦略はある。

それぞれのアプローチに焦点を絞ったさまざまな戦略をすべて同時に実行すれば、どのような市場状態のときでも堅牢なポートフォリオを作成することができるうえ、どんな1社のコーポレートリスクもマネジメント可能な水準に減少させることが可能だ。ベンスドープは50の戦略を同時にトレードしていると言うが、これはけっして冗談ではない。これは毎日少しずつ努力した人の長年の成果である。

ベンスドープは、トレーダーは1人ひとり違うと言う。これは私も同感だ。スキルが違い、リスク許容量も違い、資金レベルも違い、トレードにかける時間も違い、住んでいるところも違う2人が同じように成功する方法などないのだ。こんなことはそもそも不可能だ。

つまり、ベンスドープはあなたと同じようにトレードすることはないし、あなたもベンスドープとまったく同じようにトレードすることなどないということである。本書で彼はトレーダーを正しい方向に導く、簡単に理解できる概念を紹介している。その概念をどこに導いていくのかはあなた次第である。あなたはわずか2～3のシステム作成し、物事をシンプルにすることに終始するかもしれないし、深く掘り下げて独自のインディケーターを開発するかもしれない。あなたのトレードへの挑戦に対する答えと、ベンスドープのそれとは違うのである。ベンスドープと私は、それぞれのトレード記録を比較したことがある。彼と私とはトレードの方法はまったく異なるが、2人とも本書で紹介した概念を使って成功している。

ベンスドープはトレードにおけるポジションサイジングの重要性をよく理解している。彼は本書ではポジションサイジングを詳細に説明

している。良いポジションサイジングの概念を持たなければ、ほとんどのトレーダーは苦悩するだろう。ポジションサイジングの概念がなければ、彼らは不安定で心理的に苦しい結果に悩むことになるだろう。特に、ストレスを感じるような相場つきではそうだ。そして、今よりも良い場所を求めて、別の新たなアプローチの仕方を試すことになる。

ベンスドープは統計の達人ではないが、ポートフォリオのリターン・リスク・レシオを改善する方法をよく理解している。私は以前、プロのトレードマネジャーたちと話をしたことがある。彼らはポートフォリオにリターンの低い無相関のトレード戦略を加えると、ポートフォリオのリターン・リスク・レシオを改善することができることをまったく理解していなかった。ベンスドープは、ある種の市場状態で特定の目的を達成するための戦略を加えることで、ドロダウンを減少させることができることをよく理解している。リスクが下がれば精神的に楽になるが、これはトレーダーもマネーマネジャーも見落とすことが多い事実だ。それで厳しい状況に直面すると、トレーダーも投資家も今まで実行していたプランを捨ててしまう傾向が非常に高い。リターン・リスク・レシオをできるだけ高く維持していれば、そのトレードを我慢強く、粘り強く続けることが容易になるのである。

どのようなシステムでも戦略でも、持つべき12の要素をベンスドープは本書で詳細に説明している。このうちの1つでも欠ければ、トレードライフは困難なものになる。私が話をするほとんどのトレーダーは、これら12の要素のうち自分のトレード戦略に含めるのは半分以下である。そして、彼らはその欠けた要素のために成功できないのである。

ジャック・シュッワーカーは『**新マーケットの魔術師——米トップトレーダーたちが語る成功の秘密**』（パンローリング）のなかで私を「トレーダーのかがみ」と呼んだが、それは私がトレードをビジネスと考えていたからだろう。私はトレードに感情を持ち込まない。コンピュ

ーターで行う大量の計算とスムーズというか平凡なリターンが、明鏡止水な心境を生み出していたのだろう。私がトレーダーに「エンジョイ・ザ・ライド」（トレードを楽しめ）と言うとき、それは目を覚ましている間中、ずっとトレードのことを考えている必要はない、という意味である。人生を楽しんで、なおかつポートフォリオをマネジメントできるようなトレードスタイルを持つことこそが、すべてのトレーダーが目指すべき目標だと私は思っている。ベンスドープはそういった態度とアプローチの仕方、ポートフォリオを運用している。本書はあなたも彼と同じような望ましい方向にトレードを導くことができるようにするための指南書である。

エンジョイ・ザ・ライド！ トレードも本書もぜひ楽しんでもらいたい。

トム・バツとは……。

- ジャック・シュワッガー著『**新マーケットの魔術師**』に「トレーダーのかがみ」として登場
- 『**トム・バツの禅トレード——イライラしない売買法と投資心理学**』（パンローリング）の著者
- 『**トレードで成功するための「聖杯」はポジションサイズ——トム・バツが教えるその理由とその方法**』（パンローリング）の著者
- マイケル・コベルの『**トレンドフォローイング・マインドセット**（Michael Covel's Trend Following Mindset : The Genius of Legendary Trader Tom Basso）』で取り上げられた。
- **トレンドスタット・キャピタル・マネジメント**の元CEO（最高経営責任者）
- **全国先物協会**（アメリカの規制組織の1つ）の元取締役
- **全国先物協会**の元調停人
- **アセットアロケーター**および**ファンダタイマー協会**（SAAFTI）の

元取締役。SAAFTI は全米アクティブ投資マネジャー協会 (NAAIM) に名前が変更

- クラークソン大学 (ニューヨーク州ポツダム) で化学エンジニアリングの学士号を修得
- 南イリノイ大学エドワーズビル校で経営管理の修士号を修得
- トレーダーたちの教育を目的としたウェブサイト (<https://enjoytherideworld.odoo.com/>) の主宰者
- アリゾナ州スコッツデールにある株式と先物のアプローチを1つのポートフォリオに組み合わせ、どんな相場つきでも利益を出せるオールウェザーファンドの資金運用会社であるスタンドポイント・ファンドの取締役会長。
- 現在は引退して「人生」を楽しんでいる！